

## 第 1057 回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合 泊発電所 3 号炉に係る審議結果

2022 年 7 月 1 日

原子力規制委員会から、今後の審査の進め方として以下の事項を伝えた。事業者からは、審査の進め方を了解し、適切に対応していく旨、回答があった。

- ①地震に伴う津波と地震以外の要因による津波の組み合わせの評価に際しては、組み合わせ時間差のパラメータスタディの時間ピッチについて、今後行われるシミュレーション結果を確認した上で、ピークを捉えるために必要な場合は更に短い時間での検討を行うこと。
- ②前回の説明から時間が経過している検討項目（津波堆積物調査、行政機関の津波評価、地震以外の要因による津波等）については、新たな知見として加わった内容及び波源モデルとして考慮すべき知見の有無を明確にして説明を行うこと。
- ③敷地外から敷地内へのアクセス道路については、計画内容によっては、当該道路が津波侵入経路となり基準津波策定における評価点の追加が必要になることも考えられるため、今後、アクセス道路の計画に基づき、津波評価への影響を説明すること。
- ④以下を念頭に作業スケジュールを適切に管理すること
  - ・基準津波の策定における各審査項目が何に影響するかを考慮して、クリティカルパスとなる作業工程を念頭に検討すること。
  - ・火山影響評価については、全体の工程のクリティカルパスにならないように留意すること。